

日智修好120周年記念

藝大フィルハーモニア 管弦楽団演奏会



迫 昭嘉
(指揮)



松下 功*
(指揮)



林 英哲*
(和太鼓)

スメタナ: 連作交響詩「わが祖国」から《モルダウ》(天体映像付き)

松下 功: 和太鼓協奏曲《飛天遊》*

ドヴォルジャーク: 《交響曲 第 8 番》ト長調 作品88

2017 年 11 月 7 日 (火) 19:00 開演 (18:30 開場)

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

入場無料 入場整理券事前申込制

※就学前のお子様の同伴・入場はできませんので、ご了承ください。
※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

映像制作 吉井 譲 (東京大学アタカマ天文台TAOプロジェクト代表)
東京大学名誉教授・東京藝術大学客員教授

[主催] チリ大使館

[共催] 東京大学TAOプロジェクト、東京藝術大学

[お問い合わせ] 東京藝術大学演奏芸術センター TEL:050-5525-2300

～応募要領～

以下のURLからお申し込みください。
当日17:30より座席指定券とお引き換えになります。
お申込数が規定数に達しましたら、締め切らせていただきます。

第1次受付 10月6日(金)～

第2次受付 11月1日(水)～(若干枚数)

[URL] <https://goo.gl/35K77a>

【QRコード画像】





日智修好 120 周年記念

藝大フィルハーモニア管弦楽団演奏会

日本チリ修好120周年を迎えた本年、記念事業として東京藝大フィルによる演奏会が6月にサンチアゴにて開催され、満員の観客から大きな喝采で迎えられました。その日の感動を日本の皆様と共有したいとの思いから、この度、チリ大使館主催で演奏会が再び開催されることになりました。日本での再演は両国の友好を願う者としてこの上ない大きな喜びです。

藝大フィルと私どもの関係は2年前の2015年12月に遡ります。藝大奏楽堂で開催された「障がいとアーツ」演奏会において、藝大フィルがスメタナの《モルダウ》演奏時に、東京大学アタカマ天文台(TAO)で撮影した映像を大スクリーンに投影したことが始まりでした。

現在、東大はチリ北部アタカマの標高5640メートルのチャントール山頂に、6.5メートルという大口径の赤外線望遠鏡を建設中で、2018年の完成を目指しています。《モルダウ》演奏時に使用した映像はそれに先行して設置された口径1メートルのミニTAO望遠鏡で撮られたものです。映像と音楽を組み合わせることで得られる臨場感と高揚感を宇宙を想像しながら感じていただけたら幸いです。今回の演奏会によって藝術の分野での両国の友好の絆が一層強くなることを心から願っています。

吉井 讓 (TAOプロジェクト代表・東京大学名誉教授・東京藝術大学客員教授)

本年6月のチリ公演は、チリ大統領府青年オーケストラ基金(FOJI)、サンチアゴ市立劇場、チリ大学からの招待を受け実現に至りました。

6月24日、25日のサンチアゴ市立劇場での2公演に加え、27日にチリ大学のホールでも演奏会が開催されました。また、これに先立ち23日には大統領府FOJI楽団員の指導とモネダ文化センターでの合同演奏会を行いました。演奏会では、ヨーロッパのクラシック作品を始め、日本音楽、また、チリの誇る作曲家の作品を演奏することで、両国の音楽交流を図るとともに、日本の音楽や日本の楽器をチリの皆様にご紹介する貴重な機会となりました。

チリ公演の実現に際しては、文化庁、東京大学TAOプロジェクトを始めとして、日本大使館、チリ大使館、日本チリ友好議員連盟、サンチアゴ市立劇場、在チリ日本人会、日智商工会議所(カマラ)、日本・東京商工会議所、日智経済委員会、ラテンアメリカ協会、日本チリー協会、野村財団、東京藝術大学同声会など、多くの方々からご支援とご協力を受け、またチリ大学からは練習の場を、チリ大学に所属するチリ国立交響楽団からは楽器のご提供をいただき、全行程を成功裡に終えることができました。ご協力いただいた全ての方々に心から御礼申し上げます。

藝大フィルハーモニア管弦楽団

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8

交通のご案内

- JR 上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩 10分
- 京成線上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩 15分
- 台東区循環バス「東西めぐりん」
- ② 上野駅・上野公園から(東京芸術大学経由)⇒ ⑤-1 東京芸術大学下車 [30分間隔]

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

